

お茶の水女子大学 150 周年

お茶の水女子大学附属小学校

第 88 回 教育実習指導研究会【対面開催】（第 2 次ご案内）

学 び を あ む

－ 関係性の中で生成される主体－



■主 催

お茶の水女子大学附属小学校
NPO法人お茶の水児童教育研究会

■期 日

2026年 2月20日（金）・21日（土）

■会 場

お茶の水女子大学附属小学校

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL 03-5978-5875

FAX 03-5978-5872

ホームページアドレス <http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/>

■公開授業

国語	社会	算数	理科
音楽	図画工作	家庭	体育
外国語	みがく	てつがく	創造活動

ごあいさつ

本校では、民主主義社会を担う市民の育成を目指し、子ども一人ひとりが自ら主体的に学ぶための学習について、個の尊重と協働の視点から探究し続けています。

社会に目を向けると、技術革新による人工知能の飛躍的な進化やグローバル化の進展により、子どもたちのこれからを取り巻く環境は、大きく変化することが予想されます。そこで、社会の変化と主体的に向き合う市民を育成するため、自分の思いを大切に、様々なひと・もの・こととかかわりながら新たなものを創り出し、自己を更新していくことができるようになってほしいとの願いから、2019年度より研究テーマを「学びをあむ」としました。一人ひとりの思いや願いが尊重され、興味・関心や疑問を出発点に主体的に学びを進める教育課程について検討してきました。今年度は副題を「関係性の中で生成される主体」としました。子どもたちの思いや行為は、自身に宿るものだけでなく、関係性から生成されるものと捉え、その中で子どもたちの思いや行為の発露をみとり、それに寄り添う教師のあり方を考えています。

日頃の研究成果を多くの先生方にご覧いただき、さまざまなお立場からご意見・ご助言をいただきたいと思います。ご多用のこととは存じますが、ご参会いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お茶の水女子大学附属小学校校長

NPO法人お茶の水児童教育研究会代表 小松 祐子

1日目 2月20日(金)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	14:45	15:10	16:10
受付	学習指導 Ⅰ		学習指導 Ⅱ		学習指導 ⅠⅡ 話し合い		全体 発表	学年別 協議会		講 演	

公開学習指導 20日(金)

学習指導Ⅰ 9:00-9:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	国語	サークルでむすぶ	大村 幸子	○
1	体育保健	じぶんのきもちと なかよくなろう	江部 紀美子	
2	みがく	〇〇のたびを わかちあう	下脇 陽子	
2	みがく	食をみつめて	足立 愛美	
3	図画工作	あらわれていく	宮川 紗織	○
3	てつがく	今を見つめて	森 壽彦	
4	てつがく	これまでをふり返って 話し合おう	草野 健	
5	算数	図形	久下谷 明	
5	音楽	音楽すること	町田 直樹	
6	理科	月と太陽	比樂 憲一	○

*「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをします。話し合いはⅠⅡとも同じ時間帯に行います。

学習指導Ⅱ 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	みがく	かかわる・ふかまる・たのしむ	下田 愛佳里	○
1	みがく	こどものあらわれ	和氣 拓巳	
2	図画工作	間を感じる	小沼 律子	
2	みがく	「決め方」を問い直す	山賀 愛	○
3	社会	公園	片山 元裕	
3	理科	じ石のけんきゅう	杉野 さち子	○
4	国語	「ごんぎつね」 ～見る・読む・感じる～	白川 治	○
4	算数	しきつめ	河合 紗由利	○
5	創造活動	ともにつくる	神谷 潤 黒田 英津子 築地 晶子	
6	体育	#身体#つながる#かんじる	神崎 芳明	○
6	てつがく	みんなできめる	岡田 博元	

部会	協議会の概要	共同研究者	コメンテーター
学年別協議会 20日(金) 13:15 ~ 14:45			
1年生部会	子どもの活動を見つめるとき、出来事が起きた背景や環境の要因等の関係性に着目する。そうして教育実践を固定的な枠組みではなく、動的かつ関係的な現象として捉えることから、低学年教育を問い直したい。	本学 小玉 亮子	白梅学園大学 小玉 重夫
2年生部会	二学年では「旅する学び～リアルな手触り～」をテーマに、四つの旅に分かれ、生活の営みの中にある“めぐり”を多角的に見つめ、ゆっくりと問いを編んできた。当日は実践の中の子どもの姿を共有し、みなさまと共に子どもの行為を味わい価値づけたい。	本学 刑部 育子	東京芸術大学 須永 剛司
3年生部会	目の前の活動に没頭できる3年生の子どもたちだからこそ、自分たちの学びを見つめ直すことを大切にしたい。他者とかかわりあいながら、学びへの意欲を高めていくような「学習としての評価」のあり方を検討していく。	本学 富士原 紀絵	東京大学 浅井 幸子
4年生部会	創造活動では2学期に「自然災害・防災」をテーマに創造活動のプロジェクト型活動を進めた。教科との関連を図るため単元を入れ替えるなどして、教科学習のあり方も考えている。部会ではこれらの実践と省察を報告する。	本学 渡邊 真之	元早稲田大学 小林 宏己
5年生部会	子どもたちのエージェンシーに寄り添い、教師として何ができるかを考えて取り組んできたことを報告する。教科の学びを含め、子どもたちの実態に応じた学びを創造することについて、ともに考えていきたい。	本学 橋本 有子	元日本女子大学 今井 康雄
6年生部会	自分をあらわしたり他者を受け止めたりすることに抵抗を感じているように見える子どもたちの関係性を編みなおすには、主体性や応答性を基盤として、対話を重ねることや出来事を共に創る経験が重要であると考えている。そういった活動の在り方を考えたい。	本学 平野 真理	開智国際大学 土屋 陽介

2日目 2月21日(土)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	15:00
受付	学習指導Ⅲ		学習指導Ⅳ		学習指導ⅢⅣ 話し合い		全体発表	教科別協議会	
			家庭部会協議会						

公開学習指導 21日(土)

学習指導Ⅲ 9:00-9:40					学習指導Ⅳ 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合	年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	音楽	なかまとたのしむ	下田 愛佳里		1	国語	むすぶメガネでようもう —どうぶつの赤ちゃん—	大村 幸子	
1	体育	あそびが生まれるとき	和氣 拓巳	○	2	国語	ひょうげんを たのしもう	下脇 陽子	○
1	図画工作	ともに やってみる	宮川 紗織		2	音楽	息をあわせて	町田 直樹	○
2	みがく	〇〇のたびを わかちあう	山賀 愛	○	2	図画工作	ともに なっていく	小沼 律子	○
3	国語	「なぜ？」を深ぼり	森 壽彦	○	4	社会	わたしたちのくらしと 自然災害	岩坂 尚史	○
3	社会	公園	片山 元裕	○	4	理科	ものの温まり方	草野 健	○
3	算数	分数	河合 紗由利		5	国語	わたしが見つけたこの思い	黒田 英津子	○
5	理科	「溶解」の研究	杉野 さち子		5	算数	割合	久下谷 明	○
5	家庭	ミシンで変身	築地 晶子	☆	5	体育	性ってなんだ？	神谷 潤 江部紀美子	○
6	国語	概念で考える“いのち”	岡田 博元	○	6	算数	いろいろな体積	富田 京子	○
6	てつがく	ともに考える	比樂 憲一		6	外国語	My Hero	濱 雪乃	☆

*「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをします。話し合いはⅢⅣとも同じ時間帯に行います。「話合」に☆がついている授業は、教科別協議会の中で授業についての話し合いを行います。

部会／教科等	部会のテーマ	共同研究者	コメンテーター
教科別協議会 21日(土) 10:00 ~ 11:45			
家庭	生活の探究	本学 五十嵐 悠紀	横浜国立大学 薩本 弥生
教科別協議会 21日(土) 13:15 ~ 15:00			
国語	子どもの“今”からつくることばの学習 —〈感度〉を生かして学びを重ねる—	本学 橋本 陽介	東京学芸大学 渡辺 貴裕
社会	〈私〉から社会を考える	元本学、現宇都宮大学 大脇 和志	元立正大学 石橋 昌雄
算数	「自分事の算数」における 数学的コミュニケーション(5年次)	本学 吉田 裕亮	東京学芸大学 中村 光一
理科	科学的な高まりをつくる共同体	本学 田中 千尋	横浜国立大学 加藤 圭司
音楽	やる音楽	本学 小坂 圭太	千葉大学 本多 佐保美
図画工作	ともに なっていく	本学 埋忠 美沙	東京家政学院大学 立川 泰史
体育	学校で体育をすることの意味(3年次)	本学 水村 真由美	宇都宮大学 石塚 諭
外国語	“世界”とつながる「ことば」の学び(4年次)	本学 西川 朋美	聖徳大学 金 瑠淑

●講演

2月20日(金) 15:10~16:10 大学講堂

『生きた知識を生む学びとは～認知科学から考える』

今井 むつみ先生(慶應義塾大学名誉教授、今井むつみ教育研究所 所長)

講師紹介: これまでの認知科学の知見をもとに「学習の本質」や「学び」といった人間の存在そのものにかかわる根源的な問いにアプローチし、教育へ応用することを目指す。専門は、認知心理学、発達心理学、言語心理学。主な著書に「学力喪失—認知科学による回復への道筋」(岩波新書 2024)、「言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか」(中公新書 2023)、「学びとは何か—〈探究人〉になるために」(岩波新書 2016) など多数。

●参加費と申込方法

- ・参加費 4,000円 学生 2,000円 (資料代を含む)
- ・申込方法 本校ホームページから、申し込みサイト (Peatix) にて事前申込を行ってください。右に掲載されている QR コードからお申し込みいただけます。〆切は2月15日(日)です。なお、当日受付はできません。予めご了承ください。詳しくは本校ホームページ (<http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/>) よりご確認ください。



●お願い

- ・当日は、申し込みサイト (Peatix) にて発行される入場 QR コードが受付時に必要になります。印刷してお持ちいただくか、電子端末で QR コードが提示できるようにしてください。
- ・身分証明書の提示をお願いすることがあります。確認できるものをお持ちください。
- ・大学構内・校舎内でのビデオ撮影・写真撮影、録音は禁止です。
- ・上履きをご持参ください。
- ・弁当販売は、当日販売のみ行います。数に限りがありますので、売切の際はご容赦ください。なお、大学周辺にも飲食店・コンビニエンスストア等がございます。
- ・大地震等緊急の場合、研究会を中止することがあります。その場合のお知らせは本校ホームページで行いますので、そちらで確認をお願い致します。
- ・学級閉鎖等の場合は、公開内容に変更があります。その際は、当日掲示にてお知らせします。

●会場案内・アクセス

- ・東京メトロ丸ノ内線【茗荷谷駅】より徒歩7分
 - ・東京メトロ有楽町線【護国寺駅】より徒歩15分
 - ・JR山手線【大塚駅(南口)】より都営バス都02系統【大塚二丁目】下車徒歩1分
- ※都02系統は「錦糸町駅」「大塚二丁目」「東京ドームシティ」行きです。
- ※本校に駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。



●ご案内

本校では、長期研修を受け入れております。また、校内研究会・講演等についてのご相談も承っております。ご希望の方は QR コードからご連絡ください。

